

令和5年5月度 高山山行記



5月22日（月）午後から雨の予報に気重な雰囲気は漂うが僅かに薄陽が差し来て細やかな期待感を膨らませる。三山観光・Y 運転手が運転する中型バスは巡回して男女9名ずつ18名の今日のメンバー全員を5:50にピックアップすると谷津・船橋ICから高速に入る。7:20 佐野 SA での小休止を挟んでバスは九十九折りの新緑の回廊いろは坂を登りきると視界が開け中禅寺湖にでる。GWも終わり平日の月曜日の為か人影は疎らでバスはそのまま湖畔を奥日光へと進み9:00に高山登山の起点となる竜頭の滝駐車場に到着した。Yさんの音頭で登山前の柔軟体操で身体全体をほぐした後、2班のサブリーダーSさんがトップ、ラストはKさんが務め9:30に出発する。

竜頭の滝沿いに石段を上がり竜頭橋を渡ると「高山登山口」の看板を発見。その先にある鹿除けのネット扉を開いて入ると緩やかな山道が延びている。濃緑のバイケイソウが胡座を組んだ群落を進むと鮮やかな黄緑色の細葉が芽吹き衣替えしたカラマツ林に入る。獣道と化けた山道には獣糞が点在していて踏まないように気にしながら進むとジグザグの木製階段となり尾根の鞍部に



アズマンヤクナゲ

差し掛かる。柔らかな陽光に映える新緑が爽快なブナ樹林帯を歩くと微かにハルゼミの鳴き声が聞こえる。すると 1 本のシロヤシオの樹にめぐり逢い何故かホットする。緩やかな



坂道を登るにつれトウゴクミツバツツジの淡いピンクの花びらとシロヤシオの白い花びらの競演が始まる。其処にヒョコッとアズマシャクナゲが現れて大輪の白に薄紅色がアクセントとなり登山者を和ませる。山頂へのやや急な坂道を登りきると左手の新緑の樹々の向こうにブルーに輝く中禅寺湖が現れる。そして、ふと振り返ると其処にはどっしりと男体山の雄姿が控える。11:00 に標高 1668M「高山」の標識に到達し早速記念

の集合写真でハイチーズ。山頂はカラマツや白樺の大樹が散立した広場となっていて何故か「緯度 N36°45'38" 経度 E139°25'49"」の看板もある。 皆は夫々倒木に腰掛けワイワイと 40 分間の昼食タイムを楽しむ。

今年のシロヤシオは 10 年に 1 度の花振りとの事で山頂から降り始めるとシロヤシオとミツバツツジが彼方此方で咲き乱れ満開となり桃源郷の趣がある。更に下ると今度は朱色の小花を枝一杯に散りばめたヤマツツジが加わって一層華やいで来る。無名坂の峠から左側は沢沿いの開けた下り坂で降りて行くとカエデ・ミズナラ・ハルニレの大樹が鬱蒼として新緑を競うが、彼方此方に強風で倒され枯れた大木が点在し自然の恐ろしさが沁みる。それでも足元にはタチツボスミレやフデリンドウ



などの山野草が小花を覗かせ心を和ませる。13:00 熊窪に到達すると眼前に雄大な中禅寺湖が展開しブルーの湖水に迫り出した白い砂浜はひっそりとプライベートビーチの様相で湖面を撫でて向かって来る涼風が心地良い。此処からは中禅寺湖畔を巡る遊歩道となり厚く



敷き詰めた落ち葉の絨毯を踏みしめる朱のヤマツツジと山麓で散り始めたミツバツツジの間をすり抜ける。巨大なトチノキが繁る桁窪の開けた処にやって来ると、突然 9 人の山楽会の乙女 (!) たちが倒れた 1 本の巨木に跨がりハイポーズと。更に湖畔を進むと展望が効く赤岩に達し其処からは真新し木柵で整備された道が続き

14:30 にゴールの竜頭の滝に到達する。全長 7.6km,5 時間の山歩きを楽しむが、結局心配した雨は降らず互いに日頃の行いの良さを称えあう。ところが小休止の後 15:00 にバスに乗り込み帰路につくと直ぐさま雨が降り始めやがて豪雨となり皆は強運に大はしゃぎする。会計系の清算で 8500 円/人の旅費が徴収されバスは順調に高速を走り 18:00 に津田沼に到着すると雨は降っておらず、神がかり的な巡り合わせに深謝。高山は新緑を背景にツツジ科のトウゴクミツバツツジ・シロヤシオ・アズマシャクナゲ・ヤマツツジが咲き乱れて花を愛でる山行となりました。

<H.N 記>

